

刊夕日十月一十

常磐每日新聞

定価 一部金五銭 月金五拾銭 郵費別
 廣告料 五銭 十二字 一行 金五拾銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社 平町南町
 電話 六三〇
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

不死と再生

眞繼雲山

菩薩處胎經といふのには「人一たび命根を失はば億劫またこれを難し、一針を海中に投げてこれを求めんに或ひは得べし、人一たび身命を失はば得難きことこれに過ぎたり」とある。要するに一度死んだが最後の助、呼べと叫べど還つて來ない釋迦も孔子もキリストも復活といひ不死といふも、その肉身が再來した實例は三千年この方金輪際ないと考へられる。果たしてそのやうに人間は一度死んだら、一べんコツキリ、それつぎりのもので前後に何の交渉もないものであらうか。それほど單一、無味呆氣ないものであらうか。生死の問題を、古來の祖師方は、しばしば水と波との例を採りて示されてゐる。波の盛り上つたのが生であり、その沈んだ水が減たとの垂示である。果たして然らば甲の波と乙の波とは、それ／＼に獨立したもので彼此前後の間に何の交渉も無いものであらうか。換言すれば釋尊は三千年の間にたゞ一度しか生れ給はぬものであらうか

單に三千年のみと言はず久遠劫の大昔から未來際永劫に亘つて釋尊は唯だ一度しか生れ給はぬものであらうか。私には何うしても、さういふ一べんコツキリなものとは信じられない。惟ふに三千年來生死流轉は、それが釋尊の波であり孔子の波であり、キリストの波であるのだ。それ等の波が寄せては返へしてゐると同時に、權兵衛の波、田吾作の波、強盜のなみといふやうなものも寄せては返へしてゐる。それが釋尊のみであるのか田吾作のみであるのかは各人の自覺と行持の問題である。三千年の佛祖に往詣し、我れとは何ぞやを検討せねばならぬ。



「旭」

大竹秋平

きら／＼と朝日の光が今迄で眠つていた？宇宙の總てを照らし初める時、人も動物も植物もいや宇宙に生存するありとあらゆる物は、其の静けさから破れ眠りはさめて？

美味し。く。て。く。の。價。の。安。い

◇ 鳥小焼 ◇

南町 鳥商 菊

電話二六八番

これからの食物は……

楽しい天國の(境界)から再び動めく地上へ呼びかへされてしまふのだ？
 其の時人々は楽しい天國の夢の中に躍りしていつか忘れ？
 輝く太陽の光を受けめぐる地上の一端に立ちて宇宙に生存する、あらゆるものは活動を初めて行くのだ偉大なる日輪の流れを吸んで與へられた、自己の使命に向つて奮然としてうめく地上へ突進して行くのだ？
 おゝ……偉大なる旭よ吾等して今日一日を意義ある境界にたしめよ

外科

専門 X 光線科

上田外科醫院

平町南町 電話二一九番

正確な時計

お客様本位の……

好適の眼鏡

平日常盤屋時計店

サロンの黒ビール

レストラン サロン

電三五二

セメント 磐城セメント株式会社

壁用材料

コールタール

ペンキ塗料

板 ガラス

代理店 西村屋薬舗

平町二丁目 電三〇

◎革靴自製部新設

注文靴 修繕靴 親切丁寧 請合

高級ゴム長靴 マルトモビル内

五圓均一靴

各種靴類

菊地靴店

電話呼四三六番

貸切の御用命は？

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

冬服 衾 衾

紺色柄物……三ッ揃……拾貳圓

最新柄……三ッ揃……拾三圓五十錢

スゴッチ……三ッ揃……拾六圓五十錢

最上紺黒……三ッ揃……拾九圓

高級品……三ッ揃……拾九圓

ウリスデット

平町正札堂洋服店 電四三六

平町新川端(釜屋新宅向)

内科 醫學博士 難波 睦

一般 電話五〇二番

健康週間の試みに

不良食料品を取締

毒物の混入や有害な防腐劑 特に彩色した駄菓子御用心

櫻村平警察署長語る

けふからの健康週間に平警察署や平町役場を始め其他各種の團體が鳴り物入りの健康増進 宣傳を始めたが平署では此の週間に諸般の健康運動を企てる一方保健衛生の見地から各種食料品に對する嚴重な取締りを試みる事となり食料品店や飲食店、夫れに菓子屋や三文店等に警官を派して現品を調査せしめ

不良品と 見止むるものは是れを直ちに沒收し嚴戒を加へる事になつた、右に關して櫻村署長は語る。

「各種食料品中には時として腐造物がある、かゝる腐造物の際に毒物の混入する場合がありまた防腐劑として衛生上有害のものを混入する、不良の

酒の中に 有害なメチルアルコールが這入つて居たりするのは此の例である、なほ菓子類で外觀を奇麗に見せる爲めに有毒な着色染料を用ひたりするものがある、特に駄菓子類で毒々しい彩色のしてあるもの等のものは個人としては容

易に鑑別が出来ないものであつて専ら衛生行政の方面に於ける監督を要する處から當署が取締りを厳行して其の害をば除去するに努める次第であるが個人としても甚だ不安と思はれるものはこれを食へない様にした方が萬全の策である一云々

農地負擔願出 石城郡大野村、内郷村、好間村の三ヶ村では過般の水害地の農地負擔方を今回平稅務署に願ひ出た

入營兵の歡送會

子鉄倉神社々頭に

平町本年度入營兵歡送會は來る廿日午前十時より子鉄倉神社々頭に於て開催し神官の神詞奏上裡に入營兵の神前奉告あつて伏見町長の送辭や來賓の祝辭がある筈因に入營者氏名左記の如くである

- △歩廿九留守隊入營 仲間町佐藤二郎 搔樋小路木田三雄 二丁目板橋芳夫 正月町齊藤警廣 白銀小林重孝 長橋菅野淺雄 三丁目柏原英介 番匠鈴木由藏 研町佐藤玄三吉
- △歩七四聯隊入營(成興)紺屋町瀬谷新平 久保町永山一同沼田秀夫

今日の話

◇地球の重さはクリーブランドの科學協會でパウル博士の發表したところによると、六〇〇〇〇〇〇〇噸である、これは一體口で言ふ場合何と數へるのでせうか？

◇フランスのジュゴオニエ先生は有名な産婆、否産婦であつて本年八十四歳、光輝ある天職にあること六十四年、取りあげた赤ん坊の數一萬人有餘とは立派なレコードである

◇マツチ箱蒐集道樂の某英人は八年かゝつて三千七百七十二種集めたが、その中で六百六十種は日本のマツチ箱であつた

◇港は海に限られてと思ふと間違ひ。アメリカはロサンゼルス住宅地域にヨット港といふのが出現し、ヨット、ボートなど海濱用機具が一式残らず陳列されてゐる。勿論屋外空地の利用法であるが奇抜な商法といふべし。

- 北目町石川一郎
- △近衛第三聯隊(麻布)紺屋町圓谷定一
- △歩兵第三聯隊(東京)材木町和田國雄
- △仙臺第四聯隊 二丁目鈴木新右工門 紺屋町高橋正
- △近衛野砲 搔樋小路松本茂雄
- △野砲第二聯隊(仙臺)二丁目坂田千平 研町金成龜太郎
- △千葉鐵道隊 立町船山孝次 長橋近内勘藏
- △中野電信隊 紺屋町高木清一
- △立川飛行隊 下川原木村忠雄 六間門西湯元三
- △横須賀海兵團 南町菊地二郎 月見町根本弘

後援會を組織し 思想善導に留意

貧困兒童を救濟

内郷村に三千人の新團體

磐城大炭礦の所在地たる石城郡内郷村は住民の大部分は炭礦界に従事する各地よりの労働者からなり部落民の内の生活 方面も自ら他と異なる所あり同村教

育者有識者はこれ等炭礦に従事する者の出入頻繁より思想方面にも種々影響する所ある實狀に鑑み殊に兒童教育後援會なるものを組織し体育獎勵、貧困兒童救濟の爲め村内小學校に

各支部を設け現在では基礎も確立し逐年普及發展の途上にあるが目下同村支部では八百餘名あり綴御蔭支部でも會員募集中で將來は三千人以上の大團體となり延いては他のこの稱特殊地方にも及ばさんとしてゐる現況である先年本縣小柳知事は親くこの狀況を視察し大いに

獎勵したこともあり

如何に同村が思想善導に留意してゐるかは一般有識者の注視するところとなつてゐる

雲行きの

豊間港補助 實現の運動

石城郡豊間村では六年度から三年繼續事業として總工費廿三萬圓を投じ漁港を改修することになり六年度が縣の豫算の關係で補助を受けず三萬五千圓を以て自力で着工したが七年度からの縣補助が前小柳知事との約束があるので大丈夫間違ひなく交付されるものと思つてゐた所最近に至り補助交付はどうかやらオミットされさうな雲行きにあるので驚愕した村當局は十日東京中の縣選出各代議士を動かして中央から天降りの實現させる運動に着手することになつた

うなぎ料理

- ◇いよいようなぎの季節……
- ◇御用命はゼヒ江戸川へ

通門 江戶川
前理 江戶川
館料 江戶川
平館 江戶川
鰻料 江戶川

江戶川
(電話六七七番)

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡 回文庫 (申込次第規則書進呈)

コンパルの改築

- 3階には西洋間が出來ました。
- 2階は宴會のホールと日本間。
- 1階の食堂は廣くなりました。

洋食茶會 電六六六番
洋喫茶會 電六六六番
舊倍の御引立を偏に御願申ます

から平第一小學校に於て開かれたが明十一日を以つて終了する筈

路上に女を襲つた ツチ強盗途に捕る

その外コソ泥十四件

前科二犯二十二歳の男

好間校へも忍入

去月二十三日午前九時頃石城郡赤井村大字赤井農久市妻細屋タケ(三)假名が隣村好間村から野菜行商の歸途通稱文平原附近へ差懸つた際年齢二十三歳前後の怪漢に襲はれ七圓五十錢在中の墓口を強奪された事件は既報の如くであるが平署では之が犯人につき八方捜索中の處去る八日午後九時頃好間村大館附近を徘徊中の不審な男を平署員が取押へ本署へ連行取調べた處右は内郷村高坂生れ當時住所不定前科二犯草野儀一(三)とて遂に前記犯行を自白したが義一は更に翌廿四日夜好間尋常高等小學校に忍入し、

内郷、好間の各地に亘りコソ泥を働いて来たものでその犯行は前後十六件に達してゐると、尙同人は去月一日一年半の刑期を終へて福島刑務所を出獄した小柄な男で一見虫も殺さぬ顔をして居る

授業料滞納

差押へ處分

平町で校兒童の授業料滞納者多く這般差押へ處分を行つたこと既報したが五年度の高等科在學生二百九十名中滞納者九十八名總額三百六十一圓に達し甚だしきは一ケ年度全額の滞納者あり来る二十日頃競賣處分を斷行するに決定したが斯くの如きは全く稀有のことと教育上に及ぼす悪影響も少く憂慮されてゐる

ぜい澤着物の無理算段から

闇のサービス

平署が女給へ警告

色彩と狂燥と脂粉とのカクテルに泳ぐウエストレスは從來比較的生活苦から遠ざかつてゐたが彼女等にはい

不景氣

の波が執拗に押寄せて来たそれはとにかくこの頃平警察署の取扱つ

の種は衣裳で季節々々は勿論三日にあげず着替へを爲す等の見榮もあり彼女等は此の負擔切り抜けに心ならずも暗のサービスに墮落して行くといふ思ひべき状態にあり平署では風紀を亂す原因としてありとなし断然贅澤着物の排除實現を期する爲め警告を發することとなつた

社會問題の座談會

社會事業講習會開催の爲め來平中である松下縣社會課長を中心として昨九日夜吉屋本店に於て平町有志集參集救護法其他社會問題に關し座談會を開いた

幸運を拾ふ、二ツ

落とし主が判らぬので

二百七十圓轉げ込む

春代さんが大喜び

平町宇鍛冶町菅野はるよは昨年平町宇南町で現金二百七十圓を拾得したが遺失者が分らず七日全額を交付され大喜び

幼児が

二百圓拾得

無事遺失者へ

平町南白銀町鐵道官舎一七ノ一矢代涉(ハ)君は昨九日午後二時頃自宅前で遊戯中二百九十圓入の墓口を拾得直ちに平署へ届出たが右は平庶民金庫集金人鈴木政一

自動車の改善著し

不合格が一臺もない

平署管内自動車體檢査は去る四日から八日まで五日間平町八幡小路廣場に於いて行つたが受檢車體數は乗用車百七臺、貨物車六十臺で不合格は一臺もなく使用期



明日のラジオ

今晩も明日も北西の風晴れたり曇つたり

今晚の部

後六、〇〇 管絃樂「軍隊行進曲」他五曲東京ラヂオオーケストラ
後六、三〇 英語講座「中等科」第五講の一 青木常雄
後七、三〇 講演「九州の動物」大島廣各局の夕
後八、〇〇 熊本「嫁入り」の唄
後八、一五 福岡「博多ドクタ風景」
後八、三〇 廣島「安來節」
後八、四五 岡山「讃岐俗

明日の部

後九、〇〇 仙臺「會津大津繪」他
後九、一五 札幌「追分節」
後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告
後九、一〇 料理献立「野菜料理」
後一〇、三〇 家庭講座「子供の心の發達とその經驗」青木誠四郎
後一〇、五〇 三曲「高砂」「越後獅子」三枝中島雅

平職業紹介所便り

求人部

△店員 十五才、尋卒 住込面談(平町醬油味噌醸造業)
△煎餅製造見習 十六七才、尋卒、住込住着給小使(田町)
△豆腐賣子 卅才前後、賣上二割(湯本町)
△農夫 四十以下、住込月十二圓但し一ヶ月間(高久村)
△外交員 廿五才乃至五十才、中等卒以上、歩合なるも良好なる者は月收百圓位有(平町某無盡會社)

△外交員 廿才乃至五十才、要保證人、歩合給(平町ミン業)
△馬車輓 廿才乃至卅才尋卒以上、住込月十圓(高久村)
△農夫 四十才以下、尋卒、給料面談(玉川村)
▲求職の部
△土工 廿四歳、尋卒

井の三の商品切手

番 八 四 八 三 二 三 電 平

樂之助他
後二、〇〇 家庭大學講座「論理學」六 中桐確太郎
後二、五〇 陸軍特別大演習聖駕奉迎近況
後五、〇〇 講演「新瀉放送局開局を祝す」山岸光宣
後六、〇〇 お話「太平洋横斷飛行」石田房雄
後六、三〇 英語講座「初等科」(二十八)村岡博
後七、三〇 記念講演 徳川家達
後八、〇〇 チェロ獨奏「サララバンデ」他七曲大村卯七
後八、三〇 人情噺「茶金」土橋亭りう馬
後九、〇〇 常磐津「良寛と子守」常磐津松尾太夫他大勢

小説



【戒轉禁】

渡邊默禪作
布施平八郎畫

意氣地 (6)

「十文字さんは、女と衝突したんですよ、どうして衝突したのか原因は、ハツキリしません、何んでも腕輪を奪られたとか、奪られないとか、そんな悶着らしいですよ、そこで十文字さんが腹を立て、ブイと飛出したもんだから、女の奴め足止めに警報機を鳴らしやつたもんで、此の警報機は火事だとか泥坊だとかさう云ふ非常の場合でなければ鳴らさない事になつて居るのですから、皆んな吃驚して駆け付けると云ふ騒ぎです」

儀助は之れを冒頭に自分の見聞した事を順序立て、語つた。いくらか事實を取違へた自分の想像も混じつて居たけれど、大体は盡くして居た。

歌治は、男が惨たらしい苛責に逢つて酷く苦しんで居る事を、手に取るように話された時に他人事ながら現在自分がそんな目にあわされて居る様な烈しい衝動を受けて、思はず赫つとなると共に、ぐら／＼と軽い眩暈さへ感じた。



やそんな亂暴な事をしあしませんよ、一体この家はな

いつが私の手に、渡つて持主のあなたに返ると云ふのも妙な話です、實は十文字さんを苛め抜けたから二人が室を出てくる時に、私は素早く其處を離れて廻り角の所に隠れて居ますと、二人

たつて仕様がな、なめに此の家はお前さん」と儀助は戸の方に氣を配つて

は肘を組合つて小聲に何か話しながらズン／＼私の前を通り越して了つたんでその際の袂あたりからバタリと何か落ちたようだがそれがいつが灯に映つて、ピカ／＼してゐるから拾つて見ると簪じゃありませんか。ハハア之れだなど思つて貴女へ土産に持つて来たやうな譯ですよ。」

正統本根 時計眼鏡 無料検眼 各眼科院御用

「私にはよい記念です、頂いて置きますわ」

新築移轉

院醫吹矢

科兒小科内
科病柳花

り通社縣町治鍛古
番六六二電

毛糸 編物用具 全部新色 三二 入荷致しました 相變らず御用命の程

福徳堂 寒暖計 関内藥局

嵐しの如き絶讚裡に迎えられ 白熱的狂瀆裡に愈々堂々公演

十三日より 短期三日間限り

生駒雷遊先生と 大權威

帝都レビユーの名星 木村時子嬢一行 名映畫と名説明とレビユーの夕べ開催



思ひ出

大作 十二卷



明説 生先遊雷駒生

帝都レビユー界の女王 木村時子嬢一行

鐵血三浪人

組の喧嘩

皆様の 娛樂の殿堂 有聲座